

令和7年度全国学力・学習状況調査から見える花巻市の状況 ～結果の分析と改善の手立て～(花巻市教育委員会)

令和7年4月17日(木)、小学校6年生(市内677人)、中学校3年生(市内604人)を対象に、国語、算数・数学、理科の教科調査と、「早寝、早起き」「朝ごはん」等の基本的な生活習慣、「いじめはいけない」「人の役に立つ人になりたい」等の人としての在り様、「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫する」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」等の学習に対する姿勢など普段の生活や学習の様子86項目からなる児童生徒質問紙調査等が実施され、10月1日(水)に文部科学省から全国の結果について最終公表がありました。

令和7年度 教科調査の結果(小学校6年生、中学校3年生)ー全国・県との比較からー

教科調査については、小学校6年生が、コロナ禍で中止の令和2年度を除いて毎年行われている国語、算数と3年毎に実施される理科すべてで全国、県を下回り、中学校3年生は、国語が全国、県と同等、数学は全国を下回り県と同等、理科は全国、県を下回りました。

◆ 教科調査の平均正答率 経年変化【参考資料1】(p. 3) 参照

小学校6年生	国語	算数	理科	中学校3年生	国語	数学	理科
花巻市	65	53	54	花巻市	54	43	49.3
岩手県	67	54	56	岩手県	54	43	50.1
全国	67	58	57	全国	54	48	50.3

※ 正答率は小数点以下を四捨五入して整数値で表示【単位%】、中学校理科は平均IRTスコアで表示。IRT(項目反応理論)とは受験者の解答パターンからその能力を推定して各問題の難易度や識別力を評価する理論。

【小学校】 国語、算数、理科すべてで全国、県を下回り課題 前年度との比較では国語、算数とも改善
 全国との差 国語-2ポイント(R6-2ポイント) 県との差 国語-2ポイント(R6-3ポイント)
 算数-5ポイント(R6-8ポイント) 算数-1ポイント(R6-4ポイント)
 理科-3ポイント 理科-2ポイント

現小6は、【説明資料1】(p. 2)のとおり、各種学力調査で過去最低を更新してきたR6小6より小4段階までさらに厳しい結果が出ている学年でしたが、令和6年度岩手県学習定着度状況調査で歯止めがかかり、今回は算数でR6小6を上回ることができました。これは、花巻市ホームページ掲載「令和6年度岩手県学習定着度状況調査から見える花巻市の状況」「令和7年度花巻市学力向上アクションプラン」で考察しているとおり、主に花巻市教育委員会と連携して「指導と評価を一体化した習熟に応じた個別最適な学び」等に力を入れた小学校の学力が大きく改善したことによります。

【中学校】 国語は全国、県と同等、数学は全国を下回り県と同等、理科は全国、県を下回り課題
 前年度との比較では国語、数学とも改善

全国との差 国語 0ポイント(R6-2ポイント) 県との差 国語 0ポイント(R6-1ポイント)
 数学-5ポイント(R6-7ポイント) 数学 0ポイント(R6-2ポイント)
 理科IRTスコア -10 理科IRTスコア -8

現中3は、【説明資料1】(p. 2)のとおり、平成から令和にかけていずれの学年も年々学力低下が深刻化していく中、国語、算数・数学ともに全国、県との比較で健闘してきた学年ですが、依然として数学の全国と比較した学力は県と同様に大きな課題です。学校別の状況では、小学校段階で「指導と評価を一体化した習熟に応じた個別最適な学び」等に力を入れている小学校から進学した中学校で伸びが確認されています。

【説明資料 1】

各種学力調査の全国・県と比較した教科別学力の推移

国語	小3 CRT 国	小4 県学 国	小4 CRT 国	小5 県学 国	小5 CRT 国	小6 全学 国A	小6 全学 国B	中1 新入 生国	中1 CRT 国	中2 県学 国	中2 CRT 国	中3 全学 国A	中3 全学 国B	高1 新入 生国
前7		99		101	106					100	100	97	95	100
前6		104		101	109	104	105			100	102	101	101	101
前5		103		103	112	103	107	101		103	104	103	101	100
前4		104		104	110	107	108	99		102		101	105	101
前3				99	105	100	103	100	101	100		102		
前2				101	105	103	103	99	101	100				100
前1				100		105	102	98	104			102		
現高3			104	100		107			103	105		103		
現高2	108		103	98				101	102	99		99		
現高1	107		106			97		95	99	98		96		
現中3	105		106	99		101		100	99			99		
現中2	107		104	99		98		96	98					
現中1	100		102	95		97		95						
現小6	98		97	96		97								
現小5	100		105											
現小4	105													

算数 数学	小3 CRT 算	小4 県学 算	小4 CRT 算	小5 県学 算	小5 CRT 算	小6 全学 算A	小6 全学 算B	中1 新入 生数	中1 CRT 数	中2 県学 数	中2 CRT 数	中3 全学 数A	中3 全学 数B	高1 新入 生数
前7		101		101	104					97	90	91	85	99
前6		104		106	110	101	100			99	94	95	93	103
前5		104		108	109	102	107	101		103	99	96	98	101
前4		107		105	109	104	98	101		97		95	96	102
前3				102	104	101	99	99	93	94		90		
前2				100	105	102	98	98	94	100				100
前1				103		101	101	100	96			93		
現高3			105	102		101			95	95		93		
現高2	106		103	98				95	95	95		86		
現高1	106		108			94		94	86	90		88		
現中3	104		107	101		97		98	90	102		85		
現中2	107		100	97		94		95	86					
現中1	103		99	95		87		94						
現小6	98		93	95		91								
現小5	102		108											
現小4	107													

社会	小5 県学 社	小5 CRT 社	中1 CRT 社	中2 県学 社	中2 CRT 社
前7		104		98	98
前6		101		98	98
前5		101		103	104
前4	104	102		104	
前3	100	102	98	98	
前2	100	100	100	98	
前1	101		104		
現高3	101		100		
現高2	100		99		
現高1			96		
現中3			92		
現中2			91		
現中1					
現小6					
現小5					
現小4					

理科	小5 県学 理	小5 CRT 理	小6 全学 理	中1 CRT 理	中2 県学 理	中2 CRT 理	中3 全学 理
前7	106	106			102	95	93
前6	103	106			99	96	
前5	105	105			100	101	
前4	106	107	107		102		100
前3	102	102		104	98		
前2	100	103		102	100		
前1	101		101	96			
現高3	101			96・107		95	
現高2	100			101			
現高1				90			
現中3			96	91		98	
現中2				88			
現中1							
現小6			95				
現小5							
現小4							

英語	中1 CRT 英	中2 県学 英	中2 CRT 英	中3 全学 英	高1 新入 生英
前7		97	98		100
前6		94	96		98
前5		99	99		98
前4		100			99
前3	97	98		89	
前2	95	98			102
前1	103	99			
現高3	97	98			
現高2	100	99		77	
現高1	98	99			
現中3	98	99			
現中2	99				
現中1					
現小6					
現小5					
現小4					

【参考資料1】 全国学調の平均正答率に係る経年データ

平成から令和に入り「教科調査の平均正答率」はすべての校種教科で全国、県との差が拡大する傾向。

●平成28年度調査 小学校の国語、算数や中学校の国語の学力に比べ、中学校の数学、英語の学力が引き続き課題

小6	国語A	国語B	算数A	算数B	中3	国語A	国語B	数学A	数学B
花巻市	73	59	78	47	花巻市	76	67	59	41
岩手県	73	60	78	47	岩手県	76	66	58	41
全国	73	58	78	47	全国	76	67	62	44

●平成29年度調査 平成28年度調査に類似する傾向

小6	国語A	国語B	算数A	算数B	中3	国語A	国語B	数学A	数学B
花巻市	77	59	80	45	花巻市	80	73	62	47
岩手県	77	60	81	45	岩手県	78	72	60	45
全国	75	58	79	46	全国	77	72	65	48

●平成30年度調査 初の調査となる理科で小学校、中学校とも概ね良好

小6	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	中3	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
花巻市	74	56	64	52	61	花巻市	77	64	63	45	66
岩手県	74	57	63	51	61	岩手県	76	61	62	43	65
全国	71	55	64	52	60	全国	76	61	66	47	66

●令和元年度調査 中学校の数学、初の調査となる英語で深刻な状況

小学校6年生	国語	算数	中学校3年生	国語	数学	英語
花巻市	68	67	花巻市	74	54	50
岩手県	67	66	岩手県	74	56	52
全国	64	67	全国	73	60	56

●令和3年度調査 小学校の国語、算数で急激に深刻な状況

※令和2年度コロナ禍中止

小学校6年生	国語	算数	中学校3年生	国語	数学
花巻市	63	66	花巻市	66	53
岩手県	65	68	岩手県	66	54
全国	65	70	全国	65	57

●令和4年度調査 3年ぶり2回目の調査となる理科で小学校、中学校とも課題

小学校6年生	国語	算数	理科	中学校3年生	国語	数学	理科
花巻市	66	61	61	花巻市	71	48	47
岩手県	67	62	63	岩手県	70	49	48
全国	66	63	63	全国	69	51	49

●令和5年度調査 中学校の数学、英語でかつてない極めて深刻な状況

小学校6年生	国語	算数	中学校3年生	国語	数学	英語
花巻市	66	59	花巻市	69	44	35
岩手県	69	62	岩手県	69	46	37
全国	67	63	全国	70	51	46

●令和6年度調査 小学校の国語、算数でさらに急激に深刻な状況、中学校国語も初めて深刻な状況

小学校6年生	国語	算数	中学校3年生	国語	数学
花巻市	66	55	花巻市	56	46
岩手県	69	59	岩手県	57	48
全国	68	63	全国	58	53

●令和7年度調査 小学校は前回より改善も全教科課題、中学校は国語改善も数学、理科課題

小学校6年生	国語	算数	理科	中学校3年生	国語	数学	理科
花巻市	65	53	54	花巻市	54	43	493
岩手県	67	54	56	岩手県	54	43	501
全国	67	58	57	全国	54	48	503

※ 中学校理科は平均IRTスコアで表示。IRT（項目反応理論）とは受験者の解答パターンからその能力を推定して各問題の難易度や識別力を評価する理論。

◆ 教科毎の全国を上回った設問数の割合 経年変化【参考資料2】（p. 4・5）参照

【小学校】 国語は6割近く、算数と理科は約9割の設問で全国を下回り課題

全国を5%以上下回る大差の設問は国語14%、算数56%、理科30%。

【中学校】 国語は約6割の設問で全国を上回り改善、数学は約9割の設問で全国を下回り課題

全国を5%以上下回る大差の設問は国語0%、数学54%、理科32%。

学年・教科 項目		小学校 6 年生			中学校 3 年生		
		国語	算数	理科	国語	数学	理科
全国を上回る設問数の割合【単位％】		3 6	1 3	1 2	5 7	7	4 1
内訳	+ 1 0 % 以上						
	+ 5 % 以上						9
	+ 3 % 以上	7		6			
	0 % 以上	2 9	1 3	6	5 7	7	3 2
	0 % 未満	2 9	1 9	4 7	4 3	1 3	2 7
	− 3 % 以下	2 1	1 3	1 2		2 7	
	− 5 % 以下	1 4	5 0	2 4		4 7	2 7
	− 1 0 % 以下		6	6		7	5

【参考資料2】 全国学調の全国を上回った設問数の割合に係る経年データ

課題が顕在化した数年間、「教科毎の全国を上回る設問数の割合」はすべての校種教科で減少する傾向。

●令和元年度調査

【小学校】 国語、算数良好

【中学校】 国語良好、数学、英語課題

対策 中1 悉皆講話、数学Gアップシート、保護者希望講演等

学年・教科 項目		小学校 6 年生		中学校 3 年生		
		国語	算数	国語	数学	英語
全国を上回る設問数の割合		1 0 0	5 7	8 0	6	5
内訳	+ 5 % 以上	2 8				
	- 5 % 以下				4 4	4 3

●令和2年度調査 中止

対策 令和元年度対策に加え、英語Gアップシート、生徒個別学習指導等

●令和3年度調査

【小学校】 国語、算数課題

対策 学校訪問、課題校講話講演、児童個別学習指導、保幼こ教員研修等

【中学校】 国語良好、数学課題

対策 令和2年度対策に加え、学校訪問等

学年・教科 項目		小学校 6 年生		中学校 3 年生	
		国語	算数	国語	数学
全国を上回る設問数の割合		29	6	72	13
内訳	+ 5 % 以上				
	− 5 % 以下	14	37		31

●令和4年度調査

【小学校】 国語、算数、理科課題

対策 令和3年度対策に加え、児童希望講話、保護者希望講演、保幼こ就学前保護者講演、教員個別研修等

【中学校】 国語良好、数学、理科課題

対策 令和3年度対策に加え、教員個別研修等

学年・教科 項目		小学校 6 年生			中学校 3 年生		
		国語	算数	理科	国語	数学	理科
全国を上回る設問数の割合		4 3	1 9	2 4	7 9	2 9	1 4
内訳	+ 5 % 以上	7			1 4		5
	- 5 % 以下		2 5	1 2		3 6	1 4

●令和5年度調査

【小学校】 国語、算数課題

対策 令和4年度対策に加え、ふくろう講座授業改善研修等

【中学校】 国語良好、数学、英語課題

対策 令和4年度対策に加え、ふくろう講座授業改善研修等

学年・教科 項目		小学校 6 年生		中学校 3 年生		
		国語	算数	国語	数学	英語
全国を上回る設問数の割合		4 3	6	6 7	0	0
内訳	+ 5 % 以上	7				
	− 5 % 以下	1 4	3 8		7 3	8 8

●令和6年度調査

【小学校】国語、算数課題

対策 令和5年度対策に加え、小5
 悉皆講話、PTA役員悉皆説
 明、保護者講演、校内研等

【中学校】国語、数学課題

対策 令和5年度対策に加え、PT
 A役員悉皆説明、保護者講演、校内研等

学年・教科		小学校6年生		中学校3年生	
項目		国語	算数	国語	数学
全国を上回る設問数の割合		28	0	20	13
内訳	+5%以上 -5%以下	14 29	75	20	60

●令和7年度調査

【小学校】国語、算数、理科課題

対策 令和6年度対策の継続

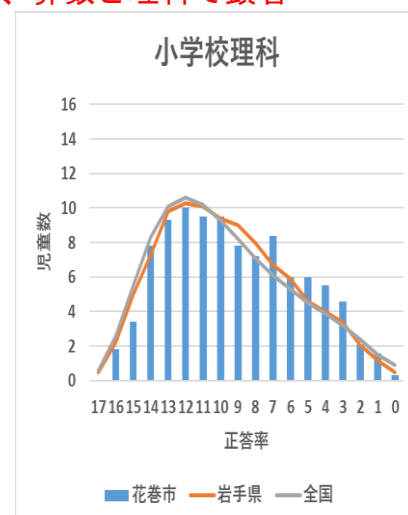
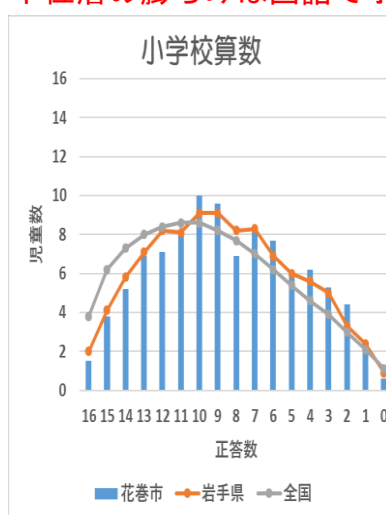
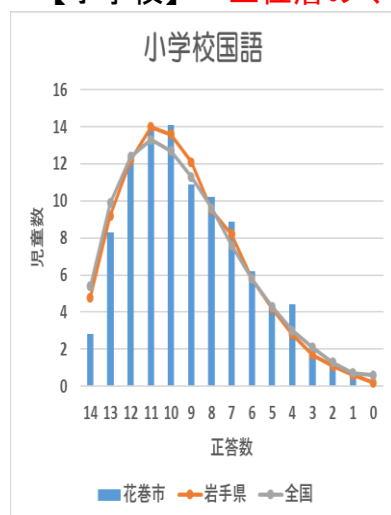
【中学校】国語良好、数学、理科課題

対策 令和6年度対策の継続

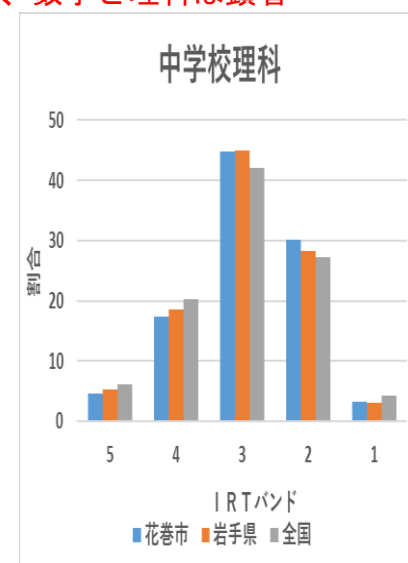
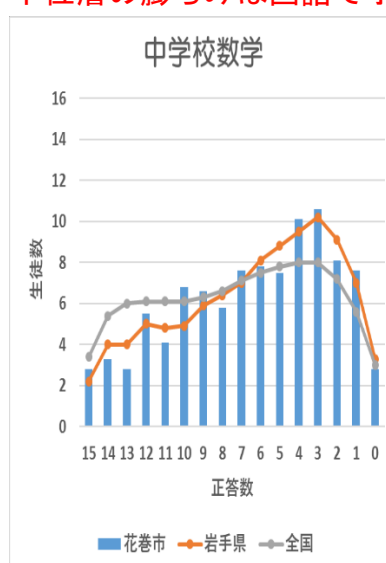
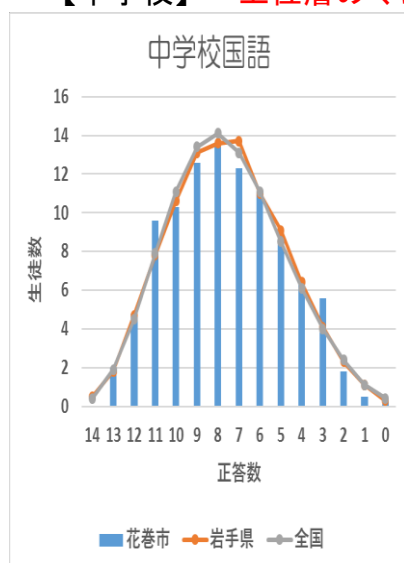
学年・教科		小学校6年生			中学校3年生		
項目		国語	算数	理科	国語	数学	理科
全国を上回る設問数の割合		36	13	12	57	7	41
内訳	+5%以上 -5%以下	14 14	56 56	30 30		54 54	9 32

◆ 教科毎の正答数別児童生徒の分布 経年変化【参考資料3】（p. 6・7）、各種学力調査との関連
 データ【参考資料4】（p. 8）参照

【小学校】 上位層のくぼみ、下位層の膨らみは国語で小さく、算数と理科で顕著



【中学校】 上位層のくぼみ、下位層の膨らみは国語で小さく、数学と理科は顕著



※ 中学校理科はIRTバンド分布グラフで表示。横軸はIRTバンド、縦軸は割合。

【参考資料3】

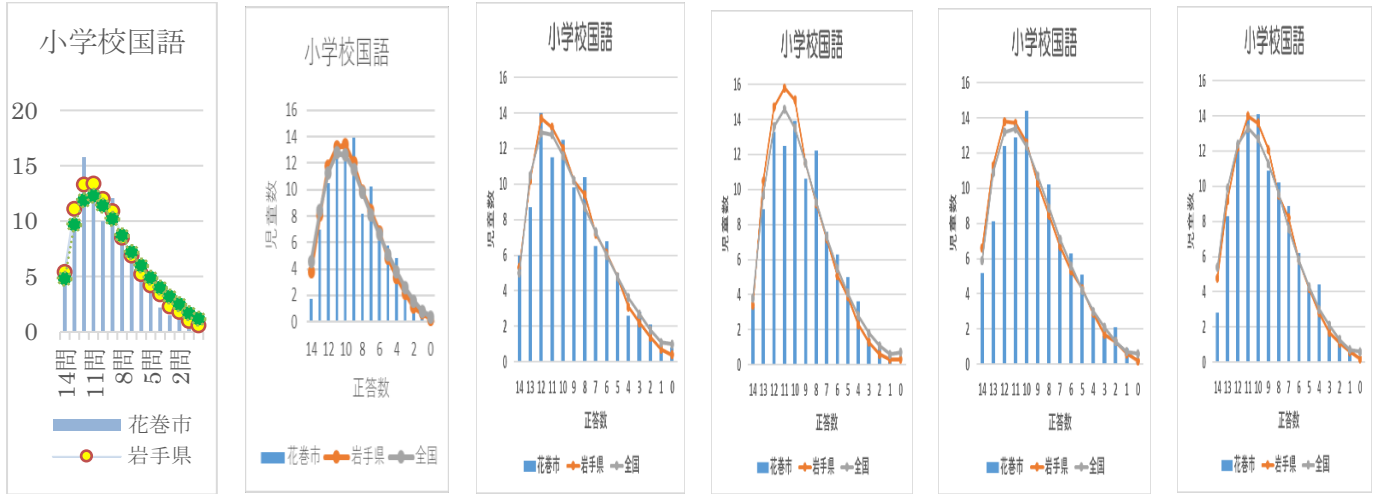
全国学調の正答数別児童生徒の分布に係る経年データ

課題が顕在化した数年間、「正答数別児童生徒の分布」はすべての校種教科で上位層減少・下位層増加の傾向。

【小学校】

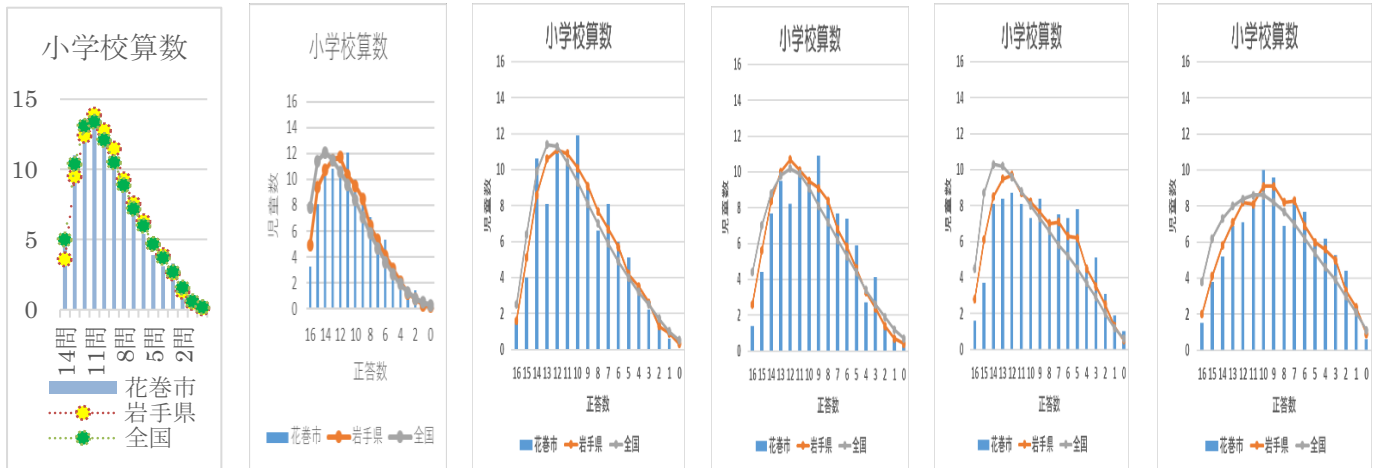
●国語

令和元年度調査 令和3年度調査 令和4年度調査 令和5年度調査 令和6年度調査 令和7年度調査



●算数

令和元年度調査 令和3年度調査 令和4年度調査 令和5年度調査 令和6年度調査 令和7年度調査



●理科

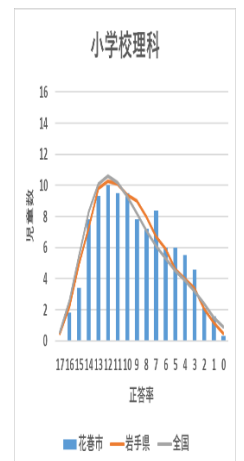
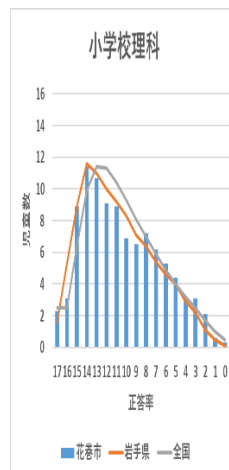
令和元年度調査 令和3年度調査 令和4年度調査 令和5年度調査 令和6年度調査 令和7年度調査

未実施

未実施

未実施

未実施

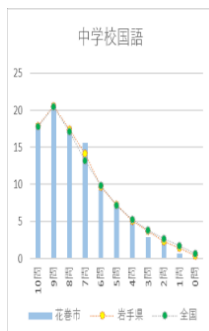


>>> 3年後 >>>

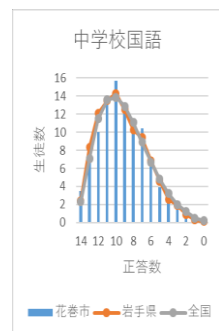
【中学校】

●国語

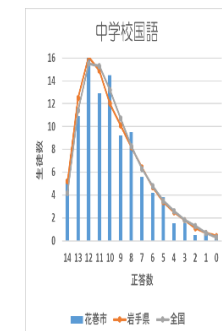
令和元年度調査



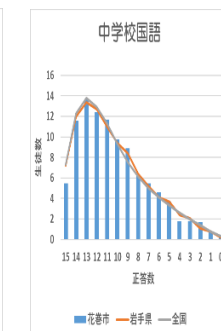
令和3年度調査



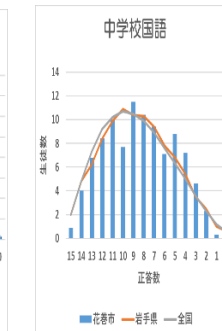
令和4年度調査



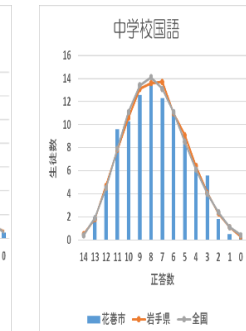
令和5年度調査



令和6年度調査

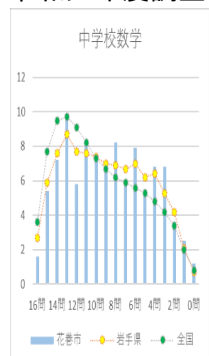


令和7年度調査

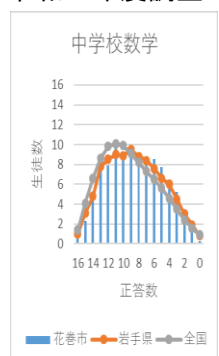


●数学

令和元年度調査



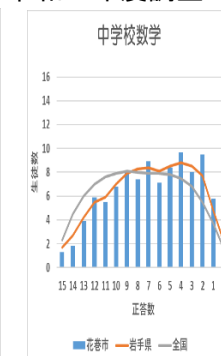
令和3年度調査



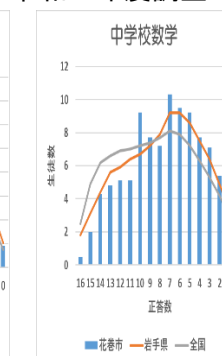
令和4年度調査



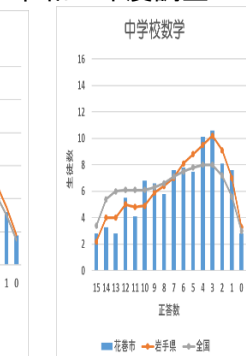
令和5年度調査



令和6年度調査



令和7年度調査



●理科

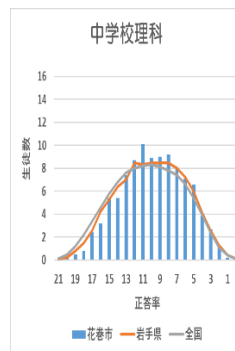
令和元年度調査

未実施

令和3年度調査

未実施

令和4年度調査



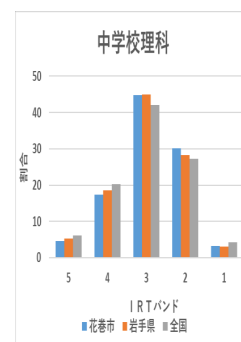
令和5年度調査

未実施

令和6年度調査

未実施

令和7年度調査

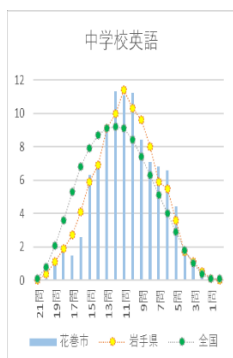


>>>3年後>>>

※ 令和7年度調査の中学校理科はIRTバンド分布グラフで表示。横軸はIRTバンド、縦軸は割合。

●英語

令和元年度調査



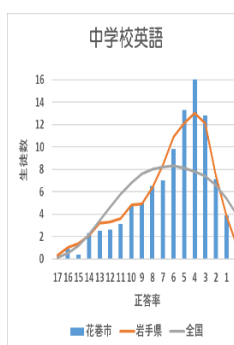
令和3年度調査

未実施

令和4年度調査

未実施

令和5年度調査



令和6年度調査

未実施

令和7年度調査

未実施

>>>4年後>>>

【参考資料4】

令和7年度小4～前8義務教育段階のCRT・県学調・全国学調の花巻市と県・全国の平均正答率との差一覧（令和7年8月29日時点） 単位%

R7 年度 学年	小3 全国 CRT	国 語	算 数	小4 全国 CRT	国 語	算 数	小5 県 学調	国 語	社 会	算 数	理 科	小6 全国 学調	国 語 A	国 語 B	算 数 A	算 数 B	理 科	新 入 生	国 語	数 学	中1 全国 CRT	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語 IBA	中2 県 学調	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	中3 全国 学調	国 語 A	国 語 B	数 学 A	数 学 B	理 科	英 語		
小3	R7			R8			R9					R10							R11			R11						R12							R13						
小4	R6	+3	+5	R7			R8					R9							R10			R10						R11							R12						
			改善																																						
小5	R5	0	+1	R6	+3	+5	R7		-			R8							R9			R9						R10							R11						
			課題																																						
小6	R4	-2	-2	R5	-2	-4	R6	-2	-	-3	-	R7	-2	-5	-3				R8			R8						R9							R10						
			最低危機																																						
中1	R3	+1	+2	R4	+1	0	R5	-3	-	-3	-	R6	-2	-8	-				R7	-3	-3	R7						R8							R9						
			課題																																						
中2	R2	+4	+5	R3	+3	0	R4	-1	-	-2	-	R5	-1	-4	-				R6	-3	-3	R6	-1	-5	-8	-7	-1	R7	-	-	-	-	-		R8						
中3	R1	+3	+3	R2	+4	+4	R3	0	-	+1	-	R4	0	-2	-2				R5	0	-1	R5	-1	-5	-5	-5	-1	R6	-	-	+1	-	-1		R7	0	-5	-1	-		
			改善																																						
高1	H30	+5	+5	R1	+4	+5	R2	0	-	-1	0	R3	0	-4	-				R4	-3	-3	R4	-1	-3	-8	-6	-1	R5	-1	-	-5	-	-1		R6	-2	-7	-	-		
			改善																																						
高2	H29	+5	+5	H30	+2	+2	R1	-1	0	-1	0	R2	0	-2	-				R3	0	-2	R3	-1	-1	-3	+1	0	R4	-1	-	-2	-	0		R5	-1	-7	-	-11		
			課題																																						
高3	H28	-	-	H29	+3	+4	H30	0	+1	+1	0	R1	+4	0	-				R2	0	-2	R2	+2	0	-3	-2	-2	R3	+3	-	-2	-	-2		R4	+2	-3	-2	-		
前1	H27	-	-	H28	-	-	H29	-1	+1	+2	+1	H30	+3	+1	0	0	+1		R1	-1	0	R1	+2	+2	-2	-2	+2	R2	0	-	0	-	0		R3	+1	-4	-	-		
前2	H26	-	-	H27	-	-	H28	+1	0	0	+1	H29	+2	+1	+1	-1	-		H30	0	-2	H30	+1	0	-4	+1	-3	R1	0	-1	-1	0	-1		R2	0	-6	-	-6		
前3	H25	-	-	H26	-	-	H27	+1	0	+2	+1	H28	0	+1	0	0	-		H29	0	-1	H29	+1	-1	-4	+3	-2	H30	0	-2	-3	-1	-2		R1	+1	-6	-	-6		
前4	H24	-	-	H25	-	-	H26	+3	+3	+4	+4	H27	+5	+5	+3	-1	+5		H28	+1	0	H28	-	-	-	-	-	H29	+1	+1	+1	+1	0		H30	+1	+3	-3	-2	0	-
前5	H23	-	-	H24	-	-	H25	+3	-	+6	+4	H26	+3	+4	+2	+4	-		H27	+1	0	H27	-	-	-	-	-	H28	+1	+1	+2	0	-2		H29	+3	+1	-3	-1	-	-
前6	H22	-	-	H23	-	-	H24	+1	-	+4	+3	H25	+2	+3	+1	+1	-		H26	-	-	H26	-	-	-	-	-	H27	0	-1	0	0	-3		H28	+1	+1	-3	-3	-	-
前7	H21	-	-	H22	-	-	H23	+1	-	+1		H24	抽	出	校	集	計		H25	-	-	H25	-	-	-	-	-	H26	0	-1	-2	+1	-2		H27	-2	-4	-6	-6	-4	-
前8	H20	-	-	H21	-	-	H22	0	-	+3	-	H23	震	災	未	実	施		H24	-	-	H24	-	-	-	-	-	H25	+1	+2	0	+1	-2		H26	0	0	-4	-4	-	-
前9	H19	-	-	H20	-	-	H21	+1	-	+2	-	H22	抽	出	校	集	計		H23	-	-	H23	-	-	-	-	-	H24	+2	+1	+2	+2	0		H25	+2	+1	-3	-4	-	-

【小学校】 H27・28頃から県・全国と比較して原因不明の第1波学力低下（破線）、R1・2中学年対策で一時改善（破線）、

R3頃からゲーム、スマートフォンの普及等が原因と推測される第2波が重なり深刻な状況（実線）、R6対策で大きく改善（実線）

【中学校】 H30まで全国と比較して数学・英語の学力が県共通課題、R1～4数英Gアップシート、中1講話等の取組でやや改善（破線）、

R4頃から小学校第1・2波に中学校段階のゲーム、スマートフォンの普及等が原因と推測される影響で深刻な状況（実線）、R6対策でやや改善（実線）

令和7年度 児童生徒質問紙調査の結果（小学校6年生、中学校3年生）-全国・県との比較から-

児童生徒質問紙調査については、令和5年度まで小学校を中心に年々課題が顕在化してきていましたが、令和6年度は改善傾向に転じました。今回は令和6年度の改善傾向が維持されているのか注視していたところ、小・中学校ともに全国、県と比較して望ましい若しくは僅差の回答傾向の項目が多く、令和6年度に引き続き「花巻市学力向上アクションプラン」の取組の効果が確認されました。

◆ 「花巻市学力向上アクションプラン」3観点からの考察

「花巻市学力向上アクションプラン」の具体的な取組としては、「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」「児童生徒の実態に即した授業改善の推進」「児童生徒の家庭生活・家庭学習の充実」を三本柱として、平成30年度から「中1 悉皆学習・生活改善講話」「数学・英語Gアップシート」「生徒個別学習相談・指導」等中学校段階の取組を始め、令和3年度からは「学校訪問指導」「児童希望学習・生活改善講話」「保護者等希望子育て・教育講演」「教員個別研」等を加えて課題が顕在化していた小学校段階の取組に広げました。令和6年度は「特に課題が大きい小5学習・生活講話」「実態周知等悉皆PTA役員会説明・保護者講演」「授業改善校内研」等、小学校段階の取組に力を注ぎました。ここでは、令和6年度「強い肯定的回答」で全国と5%以上の差があり、かつ児童生徒、保護者、教職員の皆様と共有するために話題にした内容項目に絞り変容状況を考察します。

観点1 「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」に係る内容

学級内の人間関係や児童生徒が学習に集中できる授業環境については、児童生徒の学力と密接に関係する過去のデータを踏まえて、悉皆実施の中1講話や令和6年度重視した小5講話で必ず取り上げた内容の一つです。花巻市の小・中学生の人としての有様は引き続き望ましい回答傾向にあり、特に小6の変容が大きく小5段階で力を入れた対策の効果が表れています。

● 「人が困っているときは進んで助ける」

【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	46.4	46.6	46.0	50.5	45.9	38.3
どちらかといえば当てはまる	47.9	46.8	46.7	43.7	46.6	51.8
どちらかといえば当てはまらない	5.0	5.7	6.2	4.9	6.0	8.3
当てはまらない	0.7	0.9	1.1	0.8	0.8	1.2
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	53.9	53.0	49.2	48.6	45.5	37.9
どちらかといえば当てはまる	42.0	41.7	44.5	45.6	47.8	53.0
どちらかといえば当てはまらない	3.1	4.4	5.4	5.2	5.5	7.8
当てはまらない	1.0	0.8	0.9	0	0.7	0.9

● 「人の役に立つ人間になりたい」

【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	71.7	71.2	71.1	74.7	73.0	68.6
どちらかといえば当てはまる	23.1	24.7	24.8	22.7	23.3	26.6
どちらかといえば当てはまらない	3.5	2.9	2.9	1.8	2.3	3.1
当てはまらない	1.3	1.1	1.1	0.5	0.8	1.1
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	77.0	75.9	73.7	76.9	74.4	71.3
どちらかといえば当てはまる	20.6	20.9	22.7	20.5	22.8	25.3
どちらかといえば当てはまらない	1.2	2.2	2.6	1.8	1.9	2.4
当てはまらない	1.0	0.9	1.0	0.3	0.6	0.8

●「友達関係に満足している」

【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	64.4	62.6	62.4	62.4	57.3	55.0
どちらかといえば、当てはまる	28.7	28.5	28.7	31.4	32.7	35.1
どちらかといえば、当てはまらない	4.4	6.8	6.7	4.3	7.3	7.2
当てはまらない	2.5	2.1	2.2	1.5	2.3	2.1
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	68.9	67.1	64.2	62.2	58.0	56.4
どちらかといえば、当てはまる	25.5	25.7	27.5	31.5	33.7	35.0
どちらかといえば、当てはまらない	4.9	5.5	6.2	4.2	6.0	6.6
当てはまらない	0.7	1.7	2.0	1.5	1.9	1.7

●「学級生活をよりよくするため話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決める」【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	45.2	43.7	36.3	39.7	43.6	35.5
どちらかといえば当てはまる	45.7	45.3	47.9	49.2	45.6	50.8
どちらかといえば当てはまらない	6.9	9.1	12.5	8.7	8.6	10.7
当てはまらない	2.2	1.9	3.1	2.0	1.8	2.5
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	45.8	45.2	36.5	42.9	39.6	32.6
どちらかといえば当てはまる	43.3	43.8	46.8	49.2	47.8	51.7
どちらかといえば当てはまらない	9.1	9.1	13.1	6.0	10.1	12.3
当てはまらない	1.8	1.7	3.3	1.5	2.1	2.5

●「学級活動の話し合いを生かして努力すべきことを決めて取り組む」【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	42.7	40.3	34.9	37.1	38.4	30.2
どちらかといえば当てはまる	44.6	46.9	47.6	47.9	47.9	50.4
どちらかといえば当てはまらない	10.2	10.6	14.2	12.0	10.9	15.3
当てはまらない	2.5	2.2	3.2	2.6	2.2	3.5
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	40.1	40.1	34.0	39.3	35.0	32.6
どちらかといえば当てはまる	44.0	46.1	46.8	46.9	49.7	51.7
どちらかといえば当てはまらない	14.0	11.5	15.6	10.9	12.3	12.3
当てはまらない	1.9	2.2	3.5	2.4	2.5	2.8

●「道徳の授業では自分の考えを深め学級やグループで話し合う活動に取り組む」【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	52.6	48.8	47.3	54.6	56.1	49.8
どちらかといえば当てはまる	39.3	41.8	40.9	38.7	37.0	41.9
どちらかといえば当てはまらない	6.0	7.6	9.3	4.9	5.1	6.0
当てはまらない	2.1	1.8	2.4	1.4	1.4	1.8
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	49.9	50.3	47.3	59.1	54.8	48.7
どちらかといえば当てはまる	38.6	39.2	40.7	36.6	38.9	42.8
どちらかといえば当てはまらない	9.3	8.4	9.5	2.2	4.7	6.1
当てはまらない	2.1	2.0	2.3	1.3	1.1	1.7

観点2 「児童生徒の実態に即した授業改善の推進」に係る内容

全体的に多くの質問項目で望ましい回答傾向を示す花巻市の児童生徒ですが、**教科調査で特別に厳しい結果が出ている算数・数学の「好き」「分かる」の「強い肯定的回答」は、昨年度までと同様に全国、県を下回りました。**課題が顕在化してからの花巻市の児童生徒の学力分布は、**いずれの教科でも上位層がくぼみ下位層が膨らむ複雑な分布傾向にあり、算数・数学が特別にその傾向が顕著です。**今後さらに、**複雑化、多様化する学力分布に応じた授業改善に力を入れ、児童生徒が「分かった」「できた」を実感できるように授業改善**していくことが求められます。

また、**今回新たに生じた気がかりは、小・中学校とも算数・数学のみならず国語においても「分かる」の「強い肯定的回答」が令和6年度より大きく減少していることです。**この傾向は全国、県にも見られ、近年求められている「深い学び」など、児童生徒にとっては学習目標の難易度が上がっていると感じていることと関連しているかもしれません。このことについては、今後、注視していく必要があります。

●「国語の勉強が好き」

【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	27.1	25.4	24.1	26.9	25.5	24.4
どちらかといえば当てはまる	44.6	42.6	37.9	46.4	43.6	39.9
どちらかといえば当てはまらない	18.1	20.8	24.4	19.6	22.9	25.2
当てはまらない	10.2	11.0	13.6	6.8	7.8	10.3
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	29.2	27.0	24.1	20.5	25.6	21.6
どちらかといえば当てはまる	40.9	38.6	34.2	44.7	41.2	35.3
どちらかといえば当てはまらない	20.2	23.2	26.7	26.4	25.0	29.2
当てはまらない	9.6	11.1	14.8	7.9	7.8	12.5

●「算数・数学の勉強が好き」

【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	28.0	31.0	34.0	21.9	26.0	29.4
どちらかといえば当てはまる	28.6	28.3	27.0	28.0	28.5	27.8
どちらかといえば当てはまらない	24.3	23.3	21.4	31.7	27.9	24.7
当てはまらない	19.0	17.4	17.7	18.4	17.5	17.8
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	29.7	31.8	33.7	22.0	22.6	26.5
どちらかといえば当てはまる	26.8	26.5	24.2	27.3	27.7	27.3
どちらかといえば当てはまらない	24.7	22.6	21.5	30.9	29.6	25.6
当てはまらない	18.6	19.0	20.6	19.2	19.7	20.4

●「理科の勉強が好き」

【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	57.0	56.7	53.1	28.3	37.7	33.3
どちらかといえば当てはまる	31.2	29.8	30.5	41.1	37.5	35.0
どちらかといえば当てはまらない	7.4	9.0	10.7	20.5	16.9	20.9
当てはまらない	4.4	4.4	5.7	10.0	7.6	10.5
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	43.7	44.4	40.9	33.3	36.2	30.0
どちらかといえば当てはまる	40.9	39.0	37.5	42.1	37.2	33.8
どちらかといえば当てはまらない	11.2	12.2	15.3	17.7	19.3	22.9
当てはまらない	4.1	4.3	6.2	6.4	7.0	13.0

●「英語の勉強が好き」 【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	34.3	40.6	38.2	調査項目なし		
どちらかといえば当てはまる	34.0	33.1	31.1			
どちらかといえば当てはまらない	21.2	16.3	17.9			
当てはまらない	10.5	10.0	12.7			
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	調査項目なし			調査項目なし		

●「国語の授業内容が分かる」 【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	45.8	39.7	39.2	33.2	31.5	32.0
どちらかといえば当てはまる	42.9	48.6	47.1	54.9	53.1	50.7
どちらかといえば当てはまらない	8.2	9.2	10.8	10.0	12.5	13.6
当てはまらない	2.9	2.4	2.8	1.4	2.5	3.0
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	38.7	37.6	35.9	23.1	28.7	25.4
どちらかといえば当てはまる	48.9	49.2	46.9	59.7	53.8	51.6
どちらかといえば当てはまらない	8.8	10.4	13.2	13.9	14.7	18.2
当てはまらない	3.4	2.8	3.9	2.4	2.3	4.3

●「算数・数学の授業内容が分かる」 【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	38.0	40.5	44.9	28.0	32.2	35.1
どちらかといえば当てはまる	42.6	41.0	37.2	41.4	40.2	40.6
どちらかといえば当てはまらない	14.9	13.7	13.1	22.1	19.6	17.2
当てはまらない	4.6	4.7	4.8	8.5	7.6	6.6
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	34.5	38.2	41.7	24.3	25.0	30.1
どちらかといえば当てはまる	41.4	39.9	36.6	43.5	40.6	40.2
どちらかといえば当てはまらない	17.4	15.9	15.1	22.9	24.3	20.5
当てはまらない	6.8	6.0	6.5	8.8	9.5	8.8

●「理科の授業内容が分かる」 【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	調査項目なし			調査項目なし		
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	54.9	56.0	52.4	26.5	29.7	26.1
どちらかといえば当てはまる	37.3	35.6	36.5	52.0	47.8	45.3
どちらかといえば当てはまらない	6.3	6.2	8.3	16.6	17.9	21.2
当てはまらない	1.5	2.1	2.8	4.0	4.0	6.9

●「英語の授業内容が分かる」 【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
当てはまる	41.2	43.8	43.6	調査項目なし		
どちらかといえば当てはまる	35.6	37.1	34.7			
どちらかといえば当てはまらない	16.5	13.6	14.8			
当てはまらない	6.6	5.4	6.8			
令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	調査項目なし			調査項目なし		

観点3 「児童生徒の家庭生活・家庭学習の充実」に係る内容

児童生徒のゲーム、スマートフォン等との関わり方については、**悉皆実施の中1講話や希望実施の児童講話で必ず取り上げる内容**の一つです。令和6年度は、**各学校、各ご家庭のご理解ご協力**をいただき、**特に花巻市の中学生は望ましい回答傾向**でした。これらの質問項目は、令和7年度の調査から除外され、残念ながら変容状況を確認することはできませんでした。

また、令和6年度は、ゲーム、スマートフォン等との関わり方がコントロールされて生み出される時間が、必ずしも**学習時間に活用されている状況は見られませんでした**。令和7年度の家庭学習時間は、令和6年度と類似の状況にあり、変容は少ないものと考えられます。引き続き、**児童生徒の自主的な学習への意欲など学びへの意識を高める手立て**が求められます。

● 「児童生徒の平日1日当たりのゲーム時間」 【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
4時間以上	14.9	13.8	17.7	9.1	11.3	16.6
3時間以上	11.2	12.4	12.6	10.4	11.2	12.4
2時間以上	21.4	20.4	18.9	21.9	22.0	19.9
1時間以上	25.8	28.1	25.1	26.0	24.8	21.4
1時間未満	18.1	17.7	17.7	19.5	18.7	17.7
全くしない	8.7	7.6	8.0	12.1	11.4	11.2
令和7年度		小学校6年生		中学校3年生		
		調査項目なし		調査項目なし		

● 「児童生徒の平日1日当たりの動画視聴時間」 【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
4時間以上	10.6	9.0	11.9	10.4	12.4	18.2
3時間以上	8.4	8.3	8.8	9.7	12.6	14.3
2時間以上	13.5	14.0	13.1	24.0	23.5	23.4
1時間以上	19.3	19.1	17.3	30.1	26.1	23.3
30分以上	13.0	13.8	13.3	12.0	12.0	10.7
30分未満	12.8	11.9	14.6	7.2	6.0	5.8
持っていない	22.2	23.8	21.1	5.9	6.8	3.4
令和7年度		小学校6年生		中学校3年生		
		調査項目なし		調査項目なし		

● 「スマホ等の使い方の家の人との約束」 【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
きちんと守る	43.4	43.1	39.4	45.1	39.6	34.0
だいたい守る	32.1	29.3	31.7	34.2	34.7	38.2
あまり守らない	3.8	4.4	4.5	3.0	4.6	5.6
守らない	0.6	1.0	0.9	0.5	0.9	1.3
約束はない	6.5	8.2	9.8	12.2	13.6	16.8
持っていない	13.5	14.0	13.7	4.9	16.8	3.2
令和7年度		小学校6年生		中学校3年生		
		調査項目なし		調査項目なし		

● 「児童生徒の平日1日当たりの家庭学習時間」 【単位%】

令和6年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
3時間以上	4.4	4.1	11.0	1.2	2.6	9.2
2時間以上	9.9	11.4	12.5	14.9	12.8	22.5
1時間以上	42.3	49.8	31.1	44.3	43.5	32.6
30分以上	30.9	25.6	27.0	27.1	27.3	18.4
30分未満	9.9	6.7	13.0	9.6	9.7	10.4
全くしなしない	2.7	2.4	5.3	2.6	3.7	6.6

令和7年度	小学校6年生			中学校3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
3時間以上	5.4	5.9	12.1	4.8	5.7	9.9
2時間以上	9.4	12.1	12.8	12.1	12.4	20.9
1時間以上	46.5	46.7	29.1	42.6	39.2	30.8
30分以上	30.6	27.2	27.4	29.1	27.0	19.1
30分未満	6.8	6.3	12.9	9.0	11.1	11.3
全くしなしない	1.0	1.8	5.7	1.5	3.9	7.7

令和7年度調査結果に係る分析のまとめと改善の手立て

◆ 「花巻市学力向上アクションプラン」3観点からの改善の手立て

国語、算数、理科の学力がすべて全国を上回る小学校の割合は19%、国語、数学、理科の学力がすべて全国を上回る中学校の割合は10%です。全国を上回る学校は年度によって変わりますが、**全国を上回る学校数が年々減り**続けてきました。小学校の課題が顕在化した令和元年度頃は落ち着きを失った学年・学級の改善を目指す取組が中心でしたが、**近年は学年・学級が落ち着いていても多くの学校で全国を下回り、すべての学校に共通する深刻な状態**です。

児童生徒講話で出会う児童生徒は皆がんばろうとしています。学校訪問や各種研修会で関わる教職員は皆熱心に取り組んでいます。PTA役員説明や保護者講演でお会いする保護者の皆様は皆協力的です。全体に及ぶ課題の要因を推測するに、もはや一部の学校・学年・学級、限られた児童生徒・教師・授業に起因するとは言えず、**全面に広がる土壌、全体を覆う空気、大げさに言えば子育て、教育の文化が変化してしまったことが影響**しているのかもしれません。

しかし、私たち教育関係者は、**目の前の児童生徒の自主自律の力を育み、保護者や地域の皆様のお力添えをいただきながら、児童生徒の学校生活の大部分を占める授業を通して改善**を目指さなければなりません。その手がかりは、「指導と評価を一体化した習熟に応じた個別最適な学び」等**に力を入れて成果を上げている学校の取組**です。以下では、これらの取組の具体を「花巻市学力向上アクションプラン」の「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」「児童生徒の実態に即した授業改善の推進」「児童生徒の家庭生活・家庭学習の充実」の三観点に沿ってまとめます。

観点1 「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」に係る内容

児童生徒質問紙調査によると、**学習で成果を上げている児童生徒の意識は、基本的な生活習慣、人としての在り様、学習に対する姿勢等の大部分の質問項目で望ましい回答が多く、「自分と向き合う力」「自分を高める力」「人とかかわる力」、いわゆる非認知スキルが高い傾向**があります。

まずは、子どもを取り巻く私たち大人は、**生まれてくる子どもたちが変化したのではなく、生まれた子どもたちが育つ環境が影響して課題が顕在化**していると考え、**児童生徒の皆さんが、普段から「がまん」「がんばり」「前向きなコミュニケーション」の力を意識し、節度ある生活と充実した学習の習慣を身に付けられる環境を整えることを意識**したいものです。

児童生徒質問紙調査「学校に行くのは楽しいと思います」と平均正答率のクロス集計

小学校は「学校に行くのは楽しい」と強い肯定的回答をしている児童ほど各教科の平均正答率が高い

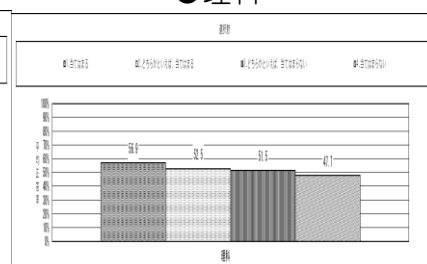
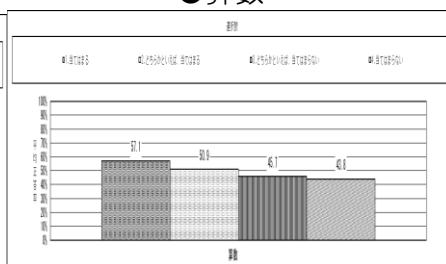
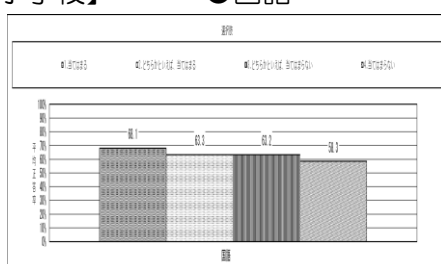
児童生徒が多くの時間を過ごす学級内の居心地は大切

【小学校】

●国語

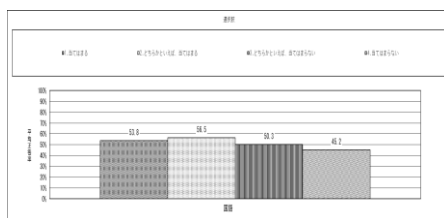
●算数

●理科

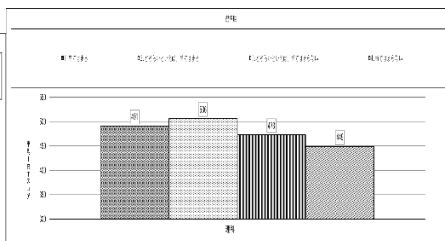


【中学校】

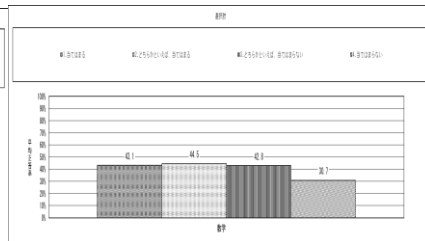
●国語



●数学



●理科



「第1問 落ち着かない学級になると、学力はどうなる?」【児童生徒講話資料(抜粋)】

県新入生調査の県比の比較【県 100 とする学力】と学級環境との関連資料

	国語	算数	崩壊学年
A小	76	79	小3
B小	82	84	小4
C小	93	92	小5
D小	97	93	小6
E小	102	104	安定
F小	117	127	充実

1 学力と人間関係は関係ないと思っていませんか?

皆の学力が伸びるように互いに学び合い、教え合い、皆が居心地がよい学級、学校にしましょう。

観点2 「児童生徒の実態に即した授業改善の推進」に係る内容

花巻市ホームページ掲載の「令和7年度花巻市学力向上アクションプラン」「ゴールから組み立て基礎基本を定着し学習意欲を高める授業改善」は、**学力上位層から下位層まで幅広くなだらかな分布であったり、上位層のくぼみと下位層の膨らみが進行した二極化傾向の分布であったり、近年の花巻市の児童生徒の学力実態を考慮し、国の動向を踏まえて作成した一単位時間に組み込める「指導と評価を一体化した習熟に応じた個別最適な学び」の学習指導過程**です。このことについては、**学校ぐるみの取組により学力向上に効果を上げている学校**がいくつかあります。

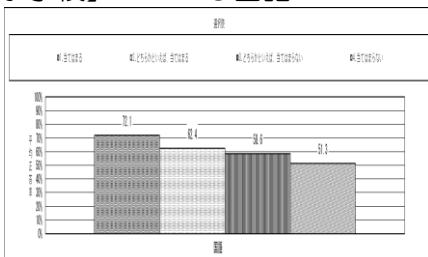
児童生徒質問紙調査「各教科の授業内容が分かる」と平均正答率のクロス集計

「各教科の授業内容が分かる」と強い肯定的回答の児童生徒ほど各教科の平均正答率が高い

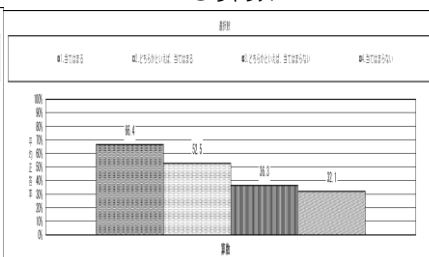
児童生徒が分かる・できると意識する授業は大切

【小学校】

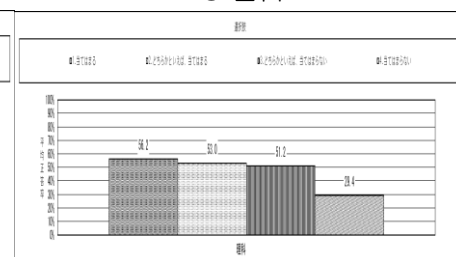
●国語



●算数

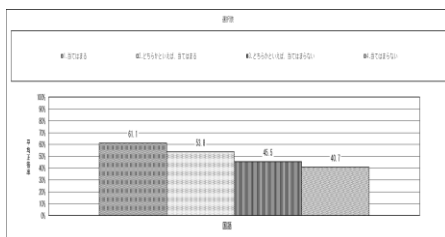


●理科

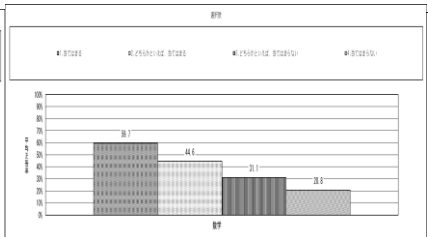


【中学校】

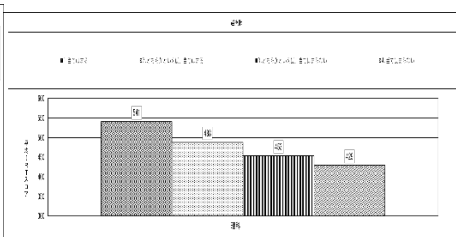
●国語



●数学



●理科



求められている授業を知り実践するための資料【教職員講義資料(抜粋)】(p. 16)

文部科学省教育課程企画特別部会「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のためのサポートマガジン基本編①～④要旨」

求められている授業を知り実践するための資料

2025.7. 学力向上担当作成

1 求められている授業を知る

現行学習指導要領には、「内容（何を学ぶか）」に加え、学びで育むべき「資質・能力（何ができるようになるか）」が示されています。次の3つです。

- ① 生きて働く「知識及び技能」
- ② 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」
- ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」

学校、教員等、我々の使命は、3つの「資質・能力」を育む授業改善です。授業改善の視点は3つです。

- ① 学ぶことに興味、関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」
- ② 子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」
- ③ 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」

「**個別最適な学び**」は、多様化・複雑化するすべての子どもたちに、「主体的・対話的で深い学び」を通じて3つの「資質・能力」を育成するための手立てです。「**協働的な学び**」は、「個別最適な学び」が孤立した学びに陥らないようにするための手立てであり、**一体的な充実が大切**です。

2 求められている授業を実践する

さて、一人一人の子どもに応じた教育はいつの時代でも重視されてきましたが、教師が多様化・複雑化する子どもたち一人一人に合った教材をすべての教科等で事前に用意し、限られた授業時間で多くの子どもの指導を同時に担う状況を想像すると、現実には実現困難と感じるかもしれません。

そこで、教師がきめ細かに指導・支援することに加えて、子どもたちが自分の学習状況を把握し、自分に必要な学習の内容・仕方を考え、自主的・自発的に学習に取り組み、**自分の学習を調整できるようにする力**を育むことが必要になります。

その際、「教師が教える」ことが悪で、「子どもに委ねる」ことが善である、という二項対立的な考え方は正しくありません。教師の力量・特性、子どもの現状・実態、教科の単元・内容を踏まえて、すべての子どもに**3つの「資質・能力」を育成するためには、どのような学習過程・学習方法・学習形態が適しているのか、吟味して授業づくりを進めることが肝要**です。

1 単位時間に課題を設定する時間、見通しを立てる時間、個別に学ぶ時間、他者との対話を通じて学ぶ時間、学びを深める時間、学びを振り返ったりまとめたりする時間一人一人の子どもの苦手を補い得意を伸ばす時間を盛り込むことは至難の業です。「子どもに委ねる」学びは、**単元を単位に進めることが不可欠**です。

今、花巻市が目指している授業改善

一単位時間に組み込んだ「指導と評価を一体化した習熟に応じた個別最適化（委ねる学び）」

**既に一部学校で実績 学校ぐるみの改善取組 = 学力調査正答率 + 児童生徒質問紙調査
県・全国比上昇 肯定的回答上昇**

国が目指す「自立した学習者の育成」に向け、児童生徒の発達段階や実態、教員のスキル等に応じて

今後、単元レベルで「学ぶ内容、学び方、確かめ方等に個別最適化（委ねる学び）」

観点3 「児童生徒の家庭生活・家庭学習の充実」に係る内容

家庭学習時間が長ければ、それだけ学力向上に効果が出ているかと言え、必ずしもそうではありません。おそらく**効果につながる学習方法になっていることが重要**なのだと思います。児童生徒に勉強の仕方を尋ねると、問題などを解いていて分からないときは**問題集の答を見てノートに「写す」学習**していると応える児童生徒が相当数います。授業でも**「考える」ことなく、板書をノートに「写す」学習**をしている児童生徒も多くいます。脳を使うことなく、「写す」作業に止まっていることを危惧します。

そこで、児童生徒講話に際しては、効果が出る学習方法や授業の受け方の話をさせていただきます。分からない問題については、**一度答を見て解説を読み脳にインプットする、次は答や解説を見ずに脳からノートにアウトプットする学習方法**（「アクティブリコール」という学習方法です）を、**授業では思考を活性化**する道具の一つとして**ノートをとる**ことをすすめます。

児童生徒質問紙調査「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」と平均正答率のクロス集計

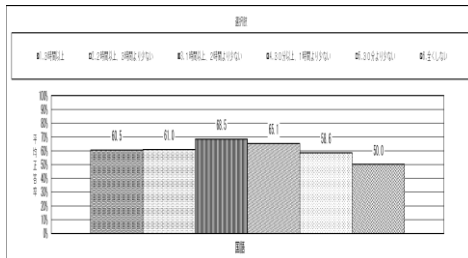
1 時間程度の家庭学習時間の児童生徒の平均正答率が高い

（必要な学習時間は個人差があり、1時間程度というのは既習事項が身に付いている児童生徒のことと思います）

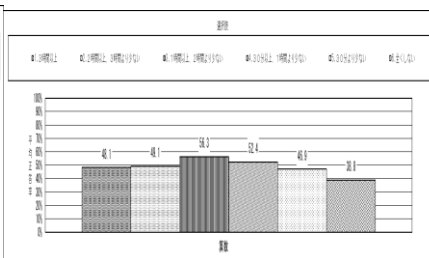
効果を上げる学習方法や脳が活性化する授業の受け方が大切

【小学校】

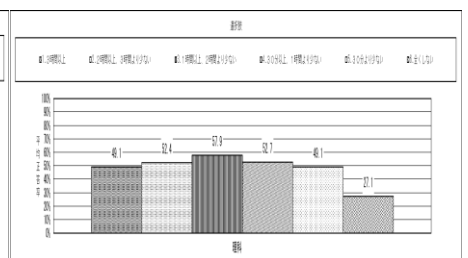
●国語



●算数

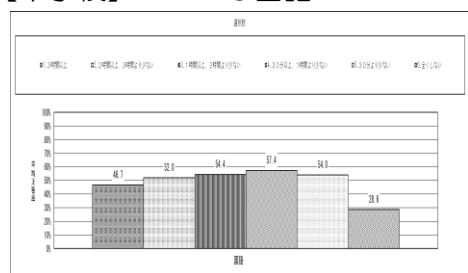


●理科

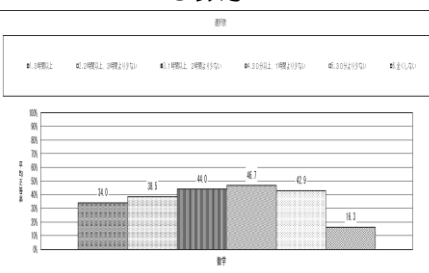


【中学校】

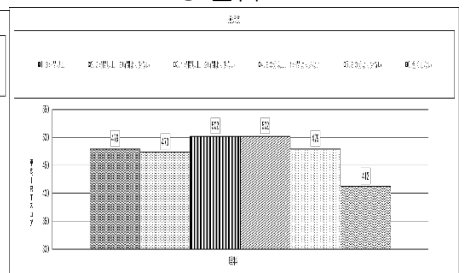
●国語



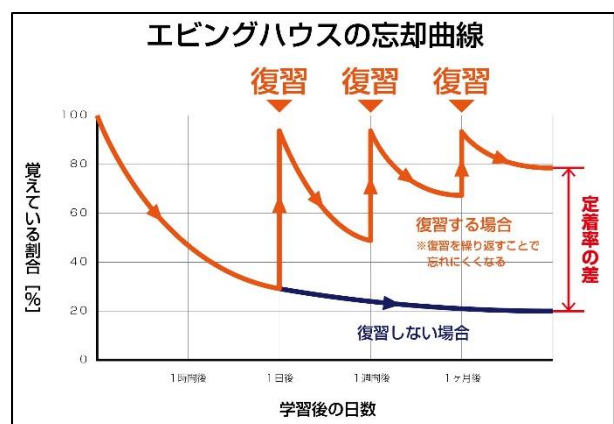
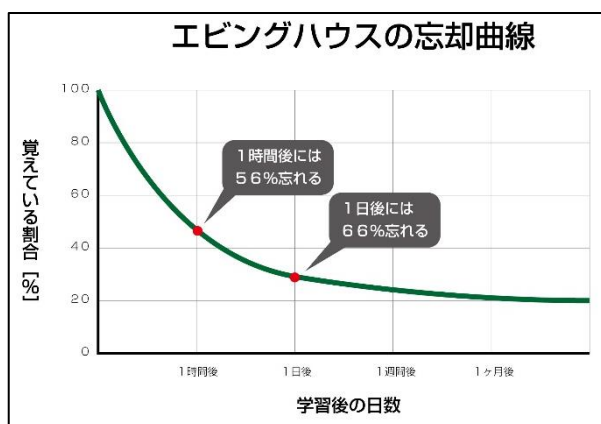
●数学



●理科



「第2問 人間の記憶は、どれくらいの時間で消えていく?」【児童生徒講話資料（抜粋）】



2 授業ノートを取り家庭学習でワークを埋めて勉強した気になっていませんか？

自力で問題を解けるようになったか、時間が経っても忘れてはいないか、何度も何度も確かめて、粘り強く取り組むことを心がけましょう。

◆ 「花巻市学力向上アクションプラン」 3 観点に係る学力向上担当の支援

教職員、児童生徒、保護者や地域の皆様には以上のようなことをご理解ご協力いただくために、**年間を通じて次の取組**を行ったり**花巻市ホームページに情報を掲載**したりしています。**花巻市の児童生徒の学力向上と健全育成のために積極的に活用**していただくようお願いいたします。

項目	児童生徒対象	保護者等対象	教職員対象
全体対応	講話 「小中学校期に身に付けたい生活、学習習慣」 ●中1講話は 悉皆 実施(所要時間: 1 単位時間) ◎小5講話は 可能な限り 実施(所要時間: 1 単位時間) ○上記以外の学年・学級講話は学年・学級の実態に応じ 希望 実施(所要時間: 1 単位時間)	講演 「巻き戻して見える子育て、教育のポイント」 ◎PTA役員会・PTA総会・授業参観日PTA研修会・教育懇談会等での講演は 可能な限り 実施(最低所要時間:15 分、30 分程度) ○学年・学級単位の保護者講演は 希望 実施(最低所要時間:15 分、30 分程度)	講義 「生徒指導の機能を生かす授業改善の方策」 ●管理職・主任等説明は学校訪問時に 悉皆 実施(所要時間: 1 時間程度) ◎校内研究会は 可能な限り 実施(所要時間: 1 単位時間) ○学年・学団・教科等各種研修会対応は 希望 実施(所要時間: 1 単位時間)
個別対応	指導 「算数・数学、英語の基礎基本を定着する学習指導」 ○学級に入れない等、課題を有す児童生徒の学習指導	相談 「子どものやる気を育む家庭環境と親の関わり方」 ○子育て、家庭教育に悩みを抱える保護者等の教育相談	研修 「結果につなげる学級経営と授業づくり」 ○学級経営、授業実践に課題意識をもつ教員の個別研修
バック対応	総合 (R7 新規) R6 実績を踏まえ、「多方面から同時に多様な対策を総合的に講じて、短期間で効率的・効果的に成果を生み出すことを目的とする取組」です。学校と協議・相談しながら、学校の実態・状況に応じて 講話・講演・講義・指導・相談・研修 を適宜組み合わせながら取組を進めます。「令和7年度学力向上アクションプラン」添付の令和6年度実践事例を参照願います。		

教育委員会・学力向上担当 年間業務スケジュール

情報を適宜迅速正確に発信し、各学校の教育活動を支援するよう行動します		
【花巻市ホームページ】	<時期 重点>	【学校】
ご覧いただいていますか？	会議・研修会・学校訪問等で情報・支援の提供	
<4～5月 計画を共有し行動・実践に向かいましょう>		
市HP>暮らし・行政>子育て・教育>教育委員会>計画・指針等>令和7年度花巻市学力向上アクションプラン		
●令和7年度花巻市学力向上アクションプラン● 学級力・授業力・家庭力の向上		
学校経営・学校運営充実に向けた年度当初学校訪問 家庭・地域の理解・協力をいただくためのPTA等説明(R6～重視) 数学・英語家庭学習教材「Gアップシート」配布		
<5～2月 改善に向けて要となる行動・実践のときです>		
児童生徒講話(中1 悉皆・小5 重点)・保護者講演(低学年重点)・教職員講義(R6～重視) 児童生徒個別指導・保護者個別相談・教職員個別研修 学校経営・学校運営充実に向けた随時学校訪問・各種調査等 夏季ふくろう講座等企画運営、その他各種会議・研修対応等 全国学調等学力・意識調査分析・情報提供等		
市HP>暮らし・行政>子育て・教育>教育委員会>令和6年度全国学力・学習状況調査から見える花巻市の状況		
●令和6年度全国学力・学習状況調査から見える花巻市の状況● 課題大きい		
(令和7年度版は8月下旬～9月初旬更新予定)		
冬季ふくろう講座等企画運営、その他各種会議・研修対応等 県学調等学力・意識調査分析・情報提供等		
市HP>暮らし・行政>子育て・教育>教育委員会>令和6年度岩手県学習定着度状況調査から見える花巻市の状況		
●令和6年度岩手県学習定着度状況調査から見える花巻市の状況● 改善の兆し		
(令和7年度版は12月下旬～1月初旬更新予定)		
<2～3月 1年間の行動・実践を振り返り次年度に備えましょう>		
標準学力検査CRT等学力分析・情報提供等 学力保障に係る年度末評価 学力向上アクションプラン、家庭教育スタンダード等次年度計画 学力向上教材「Gアップシート」等更新		

花巻市全体の数値を見れば、小・中学校ともに大きな課題の最中にあり、長いトンネルの出口が見えない状態が続いていますが、学校毎の数値に目を向ければ、取組の効果が少しずつですが確実に出ています。児童生徒、教職員、保護者の皆様方には、どうか引き続き粘り強くお力添えをお願いいたします。

学力向上担当より